

## 12 大崎地域広域行政事務組合の沿革

- 昭和35年 5月 4日 古川市外 12 カ町村伝染病院組合設立(伝染病患者隔離収容事務)
- 39年 2月26日 圏域内 14 市町村により大崎地方開発連絡協議会設立(大崎地方市町村相互の連絡調整、大崎地方広域行政及び産業振興開発調査研究とその推進——昭和 48 年 3 月 23 日解散)
- 40年 1月 1日 遠田郡4町により遠田地区視聴覚教育協議会設立(視聴覚ライブラー運営、視聴覚教育活動の普及指導に関する事業)
- 4月 1日 大崎地区視聴覚教育協議会設立(古川市・加美郡・玉造郡・志田郡 10 市町村)
- 45年 4月 1日 大崎地区消防事務組合設立(圏域内 14 市町村)
- 46年 3月13日 古川市外 12 カ町村伝染病院組合に鳴子町加入により大崎地区伝染病院組合と名称変更
- 7月21日 圏域内 14 市町村が自治省の広域市町村圏に設定され「大崎地域広域市町村圏」となる
- 8月 2日 大崎地域広域行政事務組合設立(大崎広域市町村圏の振興整備に関する計画の策定及び事業実施の総合調整に関すること)
- 47年 3月31日 「大崎地域広域市町村圏計画」(基本構想・基本計画・実施計画)策定公表
- 48年 4月 1日 大崎地区伝染病院組合を大崎地域広域行政事務組合に統合
- 4月 1日 大崎地区視聴覚教育協議会、遠田地区視聴覚教育協議会を大崎地域広域行政事務組合に統合し、教育委員会を設置、視聴覚教材センター開設
- 4月 1日 大崎地区消防事務組合を大崎地域広域行政事務組合に統合し、次の消防機関を開設——消防本部、古川消防署、鳴子消防署、涌谷消防署、中新田消防署、鹿島台分署、岩出山分署、小牛田分署、田尻出張所、小野田出張所、荒谷派出所
- 7月 1日 大崎地域広域行政事務組合粗大ごみ処理場操業開始
- 49年 3月20日 古川消防署三本木派出所、中新田消防署宮崎派出所開設
- 50年 3月20日 古川消防署松山派出所、涌谷消防署南郷派出所開設
- 7月31日 大崎地区教材センターが文部大臣賞を受賞
- 51年 2月29日 中新田消防署色麻派出所開設
- 3月31日 「大崎地域広域市町村圏計画」第二次基本計画(51 年度～55 年度)策定公表
- 3月31日 広域市町村圏振興整備構想研究調査報告書」策定公表
- 6月 1日 消防本部特別救助隊発足(隊員 7 名)
- 12月 9日 東北自動車道(古川 IC～大和 IC 間上り線)救急業務開始
- 52年 10月26日 全国視聴覚教材コンクールにおいて、鳴子町立中山小学校作品「穴堰」(スライド)文部大臣賞(学校教育部門)を受賞
- 12月14日 東北自動車道(古川 IC～築館 IC 間下り線)救急業務開始
- 53年 4月14日 大崎広域ほなみ園開園
- 54年 5月30日 大崎地域広域行政事務組合消防庁舎新築完成(消防本部・古川消防署同年 7 月 17 日移転、事務局は合同庁舎より同年 7 月 23 日移転、視聴覚教材センターは古川市中央公民館より昭和 55 年 3 月 28 日移転)
- 7月20日 消防本部消防音楽隊発足(隊員 27 名)
- 9月 6日 国土庁から大崎・栗原地方モデル定住圏の圏域に選定される
- 55年 3月31日 大崎・栗原地方モデル定住圏計画策定
- 4月 1日 副管理者制を廃し、常勤の助役制を設置
- 56年 3月31日 「大崎地域新広域市町村圏計画」(基本構想・基本計画・実施計画)策定公表

- 昭和56年 10月 7日 設立 10周年記念式典
- 57年 4月 1日 視聴覚教材センター専用施設整備完了(オーディオ室兼学習室・調整室・VTRスタジオ装置)
- 58年 4月 1日 伝染病隔離病舎 30床廃止, 20床にて運営開始
- 60年 6月 1日 消防 119番集中管理運用開始  
8月12日 粗大ごみ最終処分場取得(62,087 m<sup>3</sup>)
- 11月16日 中新田消防署庁舎増改築工事竣工
- 61年 2月17日 消防本部に鳴子ダム放流伝達用ファクシミリ装置設置  
4月 1日 職員定数条例改正(消防職員 252人)
- 62年 3月30日 三本木・松山・宮崎・色麻・南郷の各派出所に無線起動装置を設置
- 63年 10月12日 全国視聴覚教材コンクールにおいて、鹿島台町主婦グループ作品「品井沼干拓」文部大臣賞(社会教育部門)を受賞
- 平成元年 7月 1日 自治省からふるさと市町村圏に選定される  
8月30日 消防本部通信指令室に救急医療情報検索装置設置
- 3年 3月10日 鳴子消防署庁舎新築工事竣工  
3月15日 鳴子消防署消防訓練塔(主塔・副塔)竣工  
3月31日 「大崎ふるさと市町村圏計画」(基本構想・基本計画・広域活動計画・実施計画)策定公表  
8月 2日 設立 20周年記念式典
- 4年 4月 1日 宮城県広域航空消防応援協定・宮城県広域消防相互応援協定締結  
9月22日 消防本部に宮城県総合防災システム端末機設備設置
- 5年 8月 1日 大崎広域リサイクルセンター稼働  
10月29日 消防本部に宮城県地域救急医療情報システム端末機設置  
11月22日 古川消防署救急隊に救急救命士を常置  
12月 8日 古川消防署に35m級梯子付消防ポンプ車配備  
12月10日 古川消防署車庫増築工事竣工  
12月22日 古川消防署に高規格救急車配備
- 6年 4月 1日 職員定数条例改正(消防職員 260人)  
9月13日 宮城県知事から大崎地方拠点都市地域に指定される
- 7年 3月28日 大崎地方拠点都市地域基本計画の承認  
4月 1日 職員定数条例改正(消防職員 300人)  
9月 5日 緊急消防援助隊編成に救助隊1隊、消火部隊2隊を登録  
11月 1日 中新田消防署救急隊に救急救命士を常置
- 8年 1月 8日 防災倉庫竣工(救急消毒室併設)  
3月22日 古川消防署の救助工作車(Ⅱ型)をⅢ型に更新  
3月31日 「大崎ふるさと市町村圏計画」改訂版策定  
4月 1日 財務会計電算システム運用開始  
8月10日 大崎ふるさと市町村圏計画を推進するため「大崎まちづくり協議会」を発足
- 9年 2月18日 中新田消防署に高規格救急車配備  
3月31日 大崎地方拠点都市地域建設省所管事業アクションプログラム策定  
4月 1日 大崎広域一般廃棄物最終処分場供用開始

- 平成9年 4月 1日 涌谷消防署救急隊に救急救命士を常置
- 10年 4月 1日 鳴子消防署救急隊に救急救命士を常置  
8月 8日 大崎生涯学習センター(パレットおおさき)開館(視聴覚教材センターを統合)
- 11年 2月15日 鳴子消防署岩出山分署に2B型救急車配置  
3月26日 涌谷消防署に高規格救急車配置  
3月31日 伝染病院事務を廃止  
12月 8日 鳴子消防署に高規格救急車配備  
12月20日 小牛田分署にCD-1型ポンプ車配置
- 12年 9月26日 緊急消防隊助隊編成を救助隊1隊、消火部隊1隊に変更  
11月29日 鹿島台分署にCD-1型ポンプ車配置
- 13年 2月28日 小野田出張所 2B型救急車寄贈  
3月30日 古川消防署救急1・2高規格救急車配置  
4月 1日 「新大崎ふるさと市町村圏計画」策定、消防救急通信指令システム運用開始  
7月31日 鳴子消防署に15m級梯子車配置  
8月 1日 小野田出張所に2B型救急車配置  
12月10日 中新田消防署に水槽付ポンプ車配置
- 14年 4月 1日 職員定数条例改正(消防職員338人)  
9月 1日 田尻出張所・三本木出張所 2B型救急車配置  
11月12日 三本木防災センターに併設した三本木出張所開所  
11月14日 涌谷消防署 水槽付ポンプ車配置
- 15年 3月20日 小牛田分署に高規格救急車寄贈配置  
4月 1日 小牛田分署救急隊に救急救命士常置 鹿島台分署救急隊に救急救命士常置  
中新田町、小野田町、宮崎町3町が合併、加美町誕生。構成市町は1市11町に  
大崎地域広域行政事務組合情報公開制度がスタート
- 17年 3月31日 鳴子消防署に救助資機材を搭載した救助ポンプ車配置  
4月 1日 六の国環境衛生組合、大崎中央環境組合、大崎東部環境衛生事務組合と大崎地域広域  
行政事務組合が統合  
加美斎場、玉造斎場、古川斎場、松山斎場、涌谷斎場の運営管理開始  
組合単独の会計課を設置
- 18年 1月 1日 小牛田町と南郷町が合併、美里町誕生。構成市町は1市10町に  
3月31日 古川市、松山町、三本木町、鹿島台町、岩出山町、鳴子町、田尻町の1市6町が合併、  
大崎市誕生。構成市町は1市4町に  
4月1日 監査委員事務局開設  
11月 7日 助役にかわり、常勤の副管理者を置く
- 19年 1月29日 古川消防署 救急普及啓発車寄贈配置  
1月31日 鹿島台分署 小型動力ポンプ付水槽車配置  
3月31日 一般廃棄物処理基本計画及び汚泥再生処理センター整備に係る基本計画策定  
4月1日 収入役から会計管理者に改める
- 20年 1月25日 中新田消防署に救助資機材を搭載した救助ポンプ車配置  
4月1日 消防本部管理課、消防課、危機対策課、議会事務局、施設整備課開設  
5月31日 宮城県から大崎生涯学習センター無償譲渡

- 21年 1月27日 中新田消防署小野田出張所の救急車を高規格救急車へ更新
- 平成21年 2月17日 涌谷消防署に救助資機材を搭載した救助ポンプ車配置
- 22年 1月26日 古川消防署三本木出張所及び田尻出張所の救急車を高規格救急車へ更新  
4月1日 知的障害児通園施設大崎広域ほなみ園が大崎市三本木へ移転  
7月1日 涌谷消防署、小牛田分署、南郷派出所の3署所を統合し、遠田消防署開設
- 23年 4月26日 中新田消防署、色麻派出所を統合し、加美消防署開設  
10月1日 東部汚泥再生処理センター供用開始
- 24年 3月31日 大崎市町村圏計画策定  
4月1日 福祉型児童発達支援センター「大崎広域ほなみ園」へ移行  
4月27日 古川消防署鹿島台分署、松山派出所を統合し、古川消防署志田分署開設
- 25年 2月14日 鳴子消防署岩出山分署新庁舎開設  
4月1日 消防救急デジタル無線システム及び高機能消防指令システム運用開始
- 26年 2月21日 加美消防署小野田出張所、宮崎派出所を統合し、加美消防署西部分署開設  
加美消防署西部分署開設に伴い水槽付消防ポンプ車新規配置  
3月30日 大崎広域大日向クリーンパーク竣工  
10月1日 3事業所（西部・中央・東部）を統合し、施設管理課を新設
- 27年 2月17日 古川消防署田尻出張所を古川消防署田尻分署に格上げし、供用開始  
古川消防署田尻分署開設に伴い水槽付消防ポンプ車新規配置  
12月11日 「みちのくの宝島」を組合の商標として特許庁へ登録  
12月28日 大崎地域広域行政事務組合の組合章及び組合旗制定
- 28年 2月26日 イメージキャラクター「大崎夢っ子」を組合の商標として特許庁へ登録
- 29年 4月29日 大崎生涯学習センタープラネタリウムリニューアルオープン
- 30年 4月1日 大崎広域新ネットワークシステムの本格運用を開始  
大崎広域ほなみ園医療的ケア児受け入れ開始
- 31年 3月19日 消防本部に拠点機能形成車新規配置（総務省から無償貸与）  
4月1日 大崎地域広域行政事務組合本庁舎供用開始（平成31年3月竣工）  
消防本部管理課を総務課、消防課を警防課、危機対策課を防災課に改編
- 令和元年 7月1日 大崎広域リサイクルセンター供用開始（令和元年6月竣工）
- 2年 3月19日 古川消防署の救助工作車を更新  
4月1日 鳴子消防署に中型水陸両用車新規配置（総務省から無償貸与）  
4月 消防本部キャッチフレーズ「消防士は愛でできている」を制定  
6月1日 鳴子消防署車庫開設（令和2年5月竣工）
- 3年 3月16日 古川消防署の35m級梯子車を更新  
8月2日 設立50周年
- 4年 4月1日 大崎広域中央クリーンセンター供用開始（令和4年3月竣工）